



竹田 ゆかり 市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります。

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474
E-mail yukari.ain@gmail.com

「ジェンダー格差」解消に向けて 正確な実態把握を

一般質問より

十一月十七日、世界経済フォーラムが発表した2019年度「ジェンダーギャップ報告書」によると、日本は対象国153か国中121位で、過去最低の結果となった。主な要因は政治・経済分野での遅れによるものだが、昨年度の調査結果（149か国中110位）が発表された折、内閣府の男女共同参画局は「経済分野では上昇している。これは女性の労働参加率が上昇したから」と分析した。しかし実際は低賃金・非正規労働への参加であっても、労働参加としてカウントしている結果であつて、男女間格差の実態を正確に反映しているとは言えない。

ジェンダー格差を解消していくためには、まず、実態を正確に把握する必要があると考え、十一月一般質問（四日実施）では、鎌倉市における「ジェンダー格差」解消に向けて、男女間格差の実態を正確に把握することを求めた。

具体的には、「鎌倉市の統計」で示されている「所得状況調査」の男女別統計、「世帯類型別年間収入」のうち、ひとり親家庭の男女別統計、また「鎌倉市の労働事情」で示されている「雇用形態別就労人数」の男女別統計、「高齢者雇用状況」の男女別統計などについて把握し、記載していくことを求めた。

【答弁】 ジェンダー格差解消に向けた資料となるよう、データを作成し掲載していく。システム改修の必要なものは今後検討する。

<2019年度市営住宅応募状況>

用途	募集戸数	応募者数	倍率
一般世帯	13	42	3.2倍
子育て世帯	2	3	1.5倍
身障者単身世帯	1	0	—
高齢者単身世帯	2	43	21.5倍
高齢者二人世帯	2	22	11.0倍
合計	20	110	5.5倍

●高齢者単身世帯の生活保護受給率が高まる中、募集戸数の調整が必要ではないか！

市の顧問弁護士全員（4人）も認めた、 庁舎前広場の使用不許可の問題性！

一般質問より

- ◆小野弁護士見解…当該処分（政治的内容を含むと判断し、デモ行進の集合場所として不許可とした処分）が違法である可能性が高い。
- ◆櫻井弁護士見解…微妙なケースだが、松木審理員の付言を真摯に受け止めるべき（松木審理員は、「市の不許可は違法である」と付言。（9月号参照）
- ◆高荒弁護士見解…デモ行進のために集合する、その様態（行為や行動のあり様）が庁舎の維持管理上支障があるかないかで判断すべき 内容で禁止するのではなく、秩序の維持・管理の妨げとなる行為かどうかで判断するべき。
- ◆石津弁護士見解…政治的主張を目的とするということで集合場所として使わせないのは良くない。相手方と調整して条件を付すことができる。

以上のように、どの弁護士からも指摘されていることは、「特定の思想、政治的主張、宗教の普及を目的とする行為であることをもって、即、不許可とすることは問題である。総合的に判断するべきである」ということである。この視点をもって審査基準の見直しを行うべきである。

【市長答弁】…それぞれの見解を分析していく中で、市民の皆さんにとってわかりやすくなるよう、基準を明確にする。質問に的確に答えていない。

子どもたちの学習権を守る！

教職員の働き方改革 一般質問より

●会計年度任用職員について→子どもたちに向き合う時間を確保するためには、学校現場への人的配置が重要である。来年度から「会計年度任用職員制度」がスタートするが、人件費削減を理由に、人員削減が生じないように求めた。**【答弁】** 学校運営が円滑に行われるよう、人員を適切に配置していく。

●給食の公会計化→小学校給食の公会計化は市のプランでは、2020年度から運用となっている。重点事業の初年度に搭載しなければ間に合わないが。**【答弁】** 重要な課題と捉えている。今後、教育委員会と協議していく。

子どもたちの学習権を守る！

教育環境条件整備 一般質問より

●通学区域変更について

現在、鎌倉市立小学校において、児童数の増加により、特別教室や少人数指導教室・個別指導室・ランチルーム等が確保できていない学校がある。一方で隣の小学校では児童数が減り、空き教室が増え、1学年1学級の学年が増えつつある。課題解決にあたって市の考えを質した。答弁では、「学校施設整備計画の策定にあたって、児童数の推移・学区のあり方・地域のつながり等含め検討を重ねている」とのことだが、校舎改築を決定してから開校するまで最低でも6年かかる。6年間待たせるのではなく、早期に通学区域変更をすべきではないかと質した。

答弁 今後検討していく。

●特別教室空調設備設置について

理科室でガスバーナーを使用する実験では窓を閉める。また実験によっては暗幕を閉める。それが夏季ともなれば、室温が35度から37度にまで達する。学習中気分が悪くなったり、めまいを起こしたりする生徒もいると聞く。2019年度、学校から熱中症の症状で救急搬送された件数は9件。到底集中して学べる環境にない。特別教室への空調設備設置事業を重点事業とすべきである。

答弁 教育委員会と協議して進めていく。

●第一小学校・避難ビルとしての機能は大丈夫か

地域住民が、夜間や学校閉校日等に避難できる外階段を設置すべきと考えるがどうか。

答弁 教育委員会と速やかに取り組みを進めていく必要がある。

第一小学校は北棟と南棟の行き来をする場合、一度一階分下らなければならない。屋上に避難した後災害に見舞われる可能性がある。迅速な人数確認のためにも、屋上での行き来が可能となるよう求めた

鎌倉市の財政力 県内ランキング

順位は 県内19市比較	実質公債費 比率 借金返済の 重さ 少ない順	財政調整 基金 一人当たり の財調 多い順	地方債現在 高 借金の比率 少ない順
2009年決算 松尾市政2年目	2位	12位	6位
2017年決算 松尾市政10年目	1位	2位	5位

鎌倉市の財政は、

決して厳しいわけではありません！

主な議案・陳情審査・報告事項

●議案61号 第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画→可決 竹田賛成

●議案71号 一般会計補正予算→可決 竹田賛成 補正額 2億9千万円 主な内容…通称 栄光坂工事警備・倒木処理業務・ハイキングコース復旧業務・崩落土処分業務・小学校・中学校施設修繕費・永福寺跡崩落防止対策業務・朝比奈切通復旧業務・鶴岡八幡宮境内崩落防止対策等 ●なお、台風15号及び19号の被害に係る総事業費→10億3千万円（専決処分含む）

●陳情

*不活性ポリオワクチンの小学校就学前接種の助成→可決 竹田反対 現在接種の必要性について国が検証中であることから、助成に踏み切ることは時期尚早。

●常任委員会報告より

*2020年以降の図書館の運営体制の変更

休館日→毎週月曜日 12月29日～1月3日

開館時間→中央図書館 午前9時半～午後6時（平日の木・金は午後7時まで） 地域館 午前8時45分～午後5時15分（平日の木・金は午後7時まで）

*世界遺産登録推進委員会の休止について

（経過）2013年、国が「推薦取り下げ」を行った後、4県市（神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市）で構成する世界遺産登録推進委員会は、世界遺産の再推薦・登録に向け調査研究を行ってきた。再登録には「顕著な普遍的価値」を証明する必要がある。しかし新たなコンセプト構築に至らなかったため、推進委員会を休止する。

*北鎌倉隧道安全対策の現状

安全対策工法3案（人と自転車が通れる案・軽自動車を通れる案・救急車が通れる案）のうち、2020年1月末までに市が一案に絞り込む。地権者の同意を得たのち、詳細設計→工事発注→工事。一年以上かかる予定。一部地権者が「隧道には文化財的価値はない」として、安全対策工事3案いずれも反対。地権者を説得できるのか？

*生涯学習センター耐震化工事

耐震改修工事のため、内装解体を行ったが、予定外の埋蔵物があったため工事内容変更。3か月遅れとなる（2020年10月開館予定）